

# 深化する日印関係のさらなる高み

かつてないほど良好な日印関係が  
インド市場への日本企業進出の後押しとなる。

駐インド日本国特命全権大使  
平松賢司

## 飛躍的に伸びた対印直接投資

今日の日印関係は、安倍総理が「世界で最も可能性を秘めた関係」と称すように、インドで日々そのダイナミズムを実感する。日印は互いを、自由・開放性・法の支配といった基本的価値観を共有するインド太平洋地域最大の戦略的パートナーと捉え、地域の連結性強化や共同訓練等の防衛・安全保障協力を深化させている。また、日本語教育拡充、自治体間交流、訪日インド人の査証手続き簡素化、航空自由化等により、人的交流の活発化も始まっている。

戦略的価値観を共有する両国の強固な関係は、官民による日印経済関係強化の取り組みに支えられるとともに、これを促進している。わが国は、インドにとっての最大の政府開発援助 (ODA) 供与国であり、2023 年開業を目標とするインド初の高速鉄道への新幹線システム導入をはじめとするインフラ整備や、環境・農業・女性等の社会セクターの開発に幅広く協力している。

日印両政府は、5 年間で日本の対印直接投資お

よび日本企業進出数の倍増と 3.5 兆円規模の対印投融資を実現するとともにインドのビジネス環境を改善するという、「日印投資促進パートナーシップ」(14 年) の目標達成に向けて着実に前進している。進出日本企業数は昨年 10 月時点で 1369 社を数えた。16 年度の対印直接投資額は、47 億ドル (約 5220 億円) へと飛躍的に伸びた。

しかしながら、投資・企業数のいずれも、伸びる余地はまだ大きい。インド経済の潜在性と、かつてなく良好な日印関係に鑑みれば、今こそインドに進出する好機である (図表 1、2)。

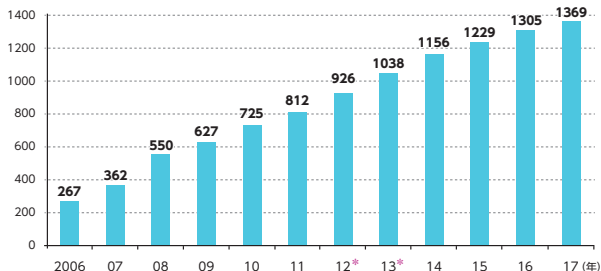
## ビジネス環境改善に向け進む改革

インド市場の魅力は、市場規模、経済成長、政治的安定の 3 点に集約される。

### (1) 大きな活気ある市場

インドは、世界最大の若年層人口を擁し、8.6 億人の豊富な労働人口 (15～64 歳) は 2050 年には 11 億人へ増大すると言われている。また、インドの名目 GDP は、早ければ 25 年頃に日本を抜いて世界第 3 位の経済に躍り出るとの予想もあ

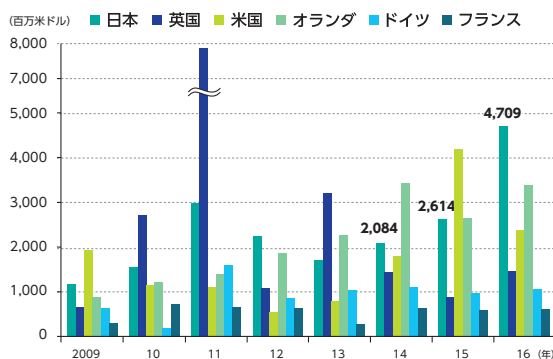
図表 1：インド進出日系企業数の推移 (2006～2017年)



(出所) 在インド日本国大使館・ジェトロ調査 (2006 年は 1 月、2007 年は 2 月、その他は隔年 10 月時点)

(\*注) 2013 年および 2014 年の企業数については、2015 年の企業数調査時の見直しによる修正値

図表 2：対印直接投資



(出所) インド商工省